

お客様 元気通信 むけ

雑草に学ぶ

一年の半分が過ぎ、今年もまた暑い夏がやって参りました。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

毎年この時期になると雑草が元気で、取っても取ってもすぐにまた生え、イタチごっこです。少し前にNHKラジオでそんな雑草の話をしていました。雑草に対する見方がすっかり変わりました。

雑草というと、ところを選ばず雑然と、どこにでも生えているような気がしますが、実はそうではないのです。雑草は人間にいつ踏まれるかわからない、いつ刈り取りされるかわからない、突然除草剤を蒔かれるかもしれないといった常在戦場の中で生きています。雑草たちは、そうした厳しい環境の変化に対応し、それぞれが自分の強みを発揮できる場所で生き残っています。

観賞用の花や野菜は、種を蒔くと一斉に芽を出し花を咲かせますが、雑草の種子はできる限りバラバラに発芽するそうです。ぺんぺん草の名前で知られるナズナがその代表格です。一斉に芽を出してしまうと、除草剤を蒔かれたりして全滅する危険があるので、ナズナは発芽の時期をずらしながらリスク分散を図っています。

道路を歩いているとアスファルトの隙間から雑草が生えているのを見かけることがあります。「こんなところによくまあ」と思ってしまいますが、アスファルトの隙間は雑草にとつて悪くない場所だといえます。植物は太陽の光を浴びなければ光合成ができません。アスファルトの隙間は、先に陣取るとライバルとなる別の雑草が入り込むスペースがなくなり、太陽を独占することができます。逆に太陽が降り注ぎ、水はけのよい広い土壌には、多くの植物が競い合い、あつという間にレッドオーシャンと化してしまいます。

雑草は踏まれても立ち上がる逞しいイメージがありますが、実際多くの雑草は踏まれると立ち上がらないそうです。立ち上がってまた踏まれてしまうと茎が折れてしまい、子孫を残せなくなりします。そこで雑草は踏まれると植物ホルモンにより、上に伸びていくことを止め、地べたを這い、花を咲かせて種子を残すという行動を取ります。雑草たちもちゃんとサステイナブル（持続可能）を考えているんですね。

そもそも雑草の「雑」の字は、いろいろな彩りの糸を集めて衣を作るという意を表し、このことから「交じる」「入り混じる」「純粹でない」の意味に使われるようになったそうです。言葉を変えると、「雑」は、「多様性」と捉えることもできそうです。

子どもの頃、人と違うことをやると先生や親から叱られた記憶がありますが、問題の領域が拡大し、複雑化している現在では、同質的なメンバーばかりでは、独創的で新しい発想は生まれてきません。異なる意見に耳を傾け、多様な価値観を受け入れる柔軟性を持ちたいと思います。

おかげさまで「元気通信」は今号で創刊100号を迎えることができました。ご愛読いただいている皆様にご心より感謝申し上げます。今後とも末永いお付き合いをよろしくお願い申し上げます。



■ 【 休日の楽しみ 】

生産部 工務 濱本 雄也

私は休日になると、よく家族と外食に行きます。様々なジャンルがありますが私の場合は町中華で食べるラーメンとチャーハンです。

私の家族自体外食をする習慣はあまりありませんでしたが、ある日私はお店のラーメンが食べたくなった事をきっかけに、最初は自分で色々なラーメン屋さんに通っていましたが、ある時父から町中華も美味しいと聞いて、興味がわき、町中華にも通い始め、それ以来、すっかりはまってしまいました。

私の好きなラーメンの味はあっさりした醤油ラーメンや鶏がらの効いた中華そばで、あとはシンプルなチャーハンでほぼそれしか食べないくらいに大好物です。

基本的に市内を中心に探していますが、たまに出張があるとその土地の中華料理屋さんを調べてその中で好みに合いそうな所に食べに行っています。

ここ数年そういった食生活をしているせいで段々体重が増えてきてしまっているのもう少し体調に気を付けて運動や食生活を見直しながら、週末を楽しみに過ごしていきたいと思います。



今月の社内フラワーアレンジメント Atsuko



セルフレジは挑戦して慣れる

島貴 修一

4年ぶりの東京散策。定宿にしている駒込のホテルに入ったら、受付のカウンター前に見慣れない黒い箱が2台並んでいる。セルフチェックイン機だ。

人生最初のセルフレジは書店のセルフレジで、以後ガソリンスタンド・スーパー・コンビニ・飲食店・脳外科病院・ニオリ・ユोकロとセルフレジを制覇して、今度はホテルのセルフチェックイン機に挑戦だ。

まずはタッチパネルのチェックインにタッチ。次にスマホの会員証QRコードを読み込ませようとしたが、コードリーダーが見当たらない。パネルの下側正面には現金投入口・カードスロット・テンキー・領収書発行とルームキーを出す部分があるだけで、ハンドスキャナーも無い。きょろきょろしていたら・・・あった。箱（セルフ機）の上でコードリーダーが天井を向いていた。支払いはクレジットカードを選択し、カードをスロットに入れたら、パネルに金額確認のOKボタンを押すと表示された。OKボタン？どこだ？再びきょろきょろしたらテンキーの中に小さなOKボタンがあった。ボタンを押した後はルームキーと領収書と朝食券の発行で終わり。操作する箇所がどこにあるかをパネルに表示するくらいの親切心があってもいいんじゃない。

スペイン語中間報告

1975年、ポールモーリアオーケストラの演奏で大ヒットした「オリーブの首飾り」。今でも耳にすることが多い軽快なリズムの曲だが、本当の曲名はスペイン語の「El Bimbo」エル ビンボで、その意味は「ふしだら女」だそうだ。しかしスペイン語を勉強してみたらこの説はおかしい。なぜなら文法が矛盾しているから。

確かにBimboは「ふしだら女」だがこれは英語だ。スペイン語の女性に関する名詞の定冠詞はLaラで、単語の最後の文字はa（女の子はLa nina ラ ニーニャ）。男性に関する名詞の定冠詞はElエルで、単語の最後の文字はo（男の子はEl nino エル ニーニョ）。そうすると「El bimbo」は男性名詞で「ふしだら男」になってしまう。

女性名詞の形にすると「La Bimba」ラ ビンバだけど、スペイン語にはBimbaという言葉は無い（Bimboも無い）。ということは英語のBimboにスペイン語のElを付けた、スペイン語もどき、なんちゃってスペイン語ではないか。

スペイン語の「ふしだら女」はLa casquivana ラ カスキバーナ。

■【 居酒屋巡り 】

技術営業部 係長 小林 智

私が今はまっていることは居酒屋巡りです。仕事柄 1 年の半分以上は出張しており、またコロナの規制もゆるくなってきたので昨年くらいから出張した夜は居酒屋でお酒を飲む機会が増えてきました。出張した地域のおいしいものと、おいしいお酒を食べて飲むことが唯一の楽しみでもあります。

以前三重県で仕事をした際、東京の醸造設備・器具を取り扱っていらっしゃる会社の方に連れて行ってもらうことも感心したお店があります。そのお店のショーケースには数十種類の清酒が置いてあり、昼間はショーケースにカーテンをして遮光する徹底ぶり。清酒はいつも同じ銘柄ではなく、仕入れを変えるためいつも違うお酒を楽しめます。お酒を注文するとそのお酒の物語や味、製造している酒蔵についての説明をしながら提供してくれます。清酒の品揃えが豊富で説明も勉強になるので三重出張の折は頻繁に行くお店になり、今では常連扱いしてもらえるようになりました。

下記の画像は先日お店に行ったとき撮影したものです。画像の他にもまだ沢山清酒が置いてあります。興味がある方はご紹介しますので私までご連絡下さい。



“ちょっと一息”



楽しみ方

No.41

生産部 統括 山本 知男

つい最近 2 週連続で演奏会に出て来ました。1 つは賛助出演で、もう 1 つは所属しているバンドの演奏会です。賛助の方は気持ちはありましたが、やはり大勢の方達の前での演奏となると緊張しました。それでも緊張と興奮で良い刺激を味わったんですが、所属している方はそうは行かない。1 週間前なんか夜中にグループラインが飛び回って、朝起きたら未読が 60 以上あって、毎朝ゲンナリしてました。それでも何とか無事に終わって、予想以上にお客さんも入って、一応は大盛会でシャンシャンって感じでした。これから後始末がありますが、大きなイベントが 1 つ終わってホッと一息という所でしょうか。

それにしても 2 週連続はやはり堪えました。若くもないし、片やお手伝いと言っても本番 2 つは疲れしました。若いころは、それでも平気だったけど、やはり歳ですかね。

歳と言うとやはり若い時とは比べ物にならないくらい気力、体力、そして耐力が落ちたと思います。気力、体力は仕方ないと思うけど、やはり最近是我慢できなくなって来たと感じる事が多々です。前ならもっと我慢して先ずはやって見るか、とか説得してみたりしていたと思うけど、最近は怒りっぽくなったなど、後から反省する事が多くなりました。

それから自分の言う事が正しいって思うようにもなった。自信はないけど、自分の方が良いだろうって。もっと意見聞いて、折り合って行けば良いじゃないかなと思うけど、このままだと嫌われるじゃないかなと思うなど、変な反省したりしてます。

好きな音楽をもっと続けられるよう、楽しくやって行く為の努力がまだまだ必要なのか。